

# No. 1348

## 美と技の祭典

— '79 国際フィギュアスケート —

世界の妖精たちが銀盤いっぱいには舞う。東京中日スポーツと日本スケート連盟主催の '79 フィギュアスケート国際大会が11月10日東京代々木の第1体育館特設リンクで開かれました。大会には世界各国から一流スケーター17選手が参加。米国からは今年のペア世界チャンピオン、バビロニア・ガードナー組、ソ連からはみごとにカムバックを果たしたロドニナ・ザイツェワ組などが次々に美と技を披露しました。日本フィギュア界の女王渡部絵美は三回転ジャンプをまぜた高度でかれんな演技でファン魅了。ますます円熟味を増した渡部絵美、来年2月レクプラシッドで行われる冬季五輪の入賞が期待されます。

## ようこそ愛知へ

皇太子妃美智子さまと紀宮さまが、11月7日、愛知県を訪問されました。新幹線「ひかり69号」で名古屋入り、七・五・三まいりでにぎわう熱田神宮を参拝のあと、日本陶器や犬山城を見学。紀宮さまの学習院初等科の秋休みを利用した母子おそろいの見学旅行で9日までの3日間、秋の尾張・三河路をお楽しみになりました。

## 前途多難なスタート

— 第2次大平内閣 —

長びく自民党の党内抗争から第2次大平内閣は党三役が決まらないまま11月8日組閣作業に入った。内閣官房長官には大平派の伊藤正義氏、蔵相に竹下登氏、法相には党三役から倉石忠雄総務会長が起用され、また通産相には佐々木義武氏が入閣。この他若手では総理府総務長官に小淵恵三氏、労相に藤波孝生氏が抜てきされた。注目の外相には大来佐武郎氏が唯一の民間人として入閣、文相は首相兼務となった。激しい党内抗争のあとだけに新閣僚の顔ぶれが注目されたが、結局、各派閥の中堅若手クラスを網らした清新ながら軽量内閣となった。翌11月9日組閣を終えた大平内閣は皇居で認証式を行い、正式に発足。与野党伯仲のなか、党内に主流、非主流のき裂を抱え、しかも多くの内外の政策課題に直面するなど第2次大平内閣のスタートは前途多難なものとなった。